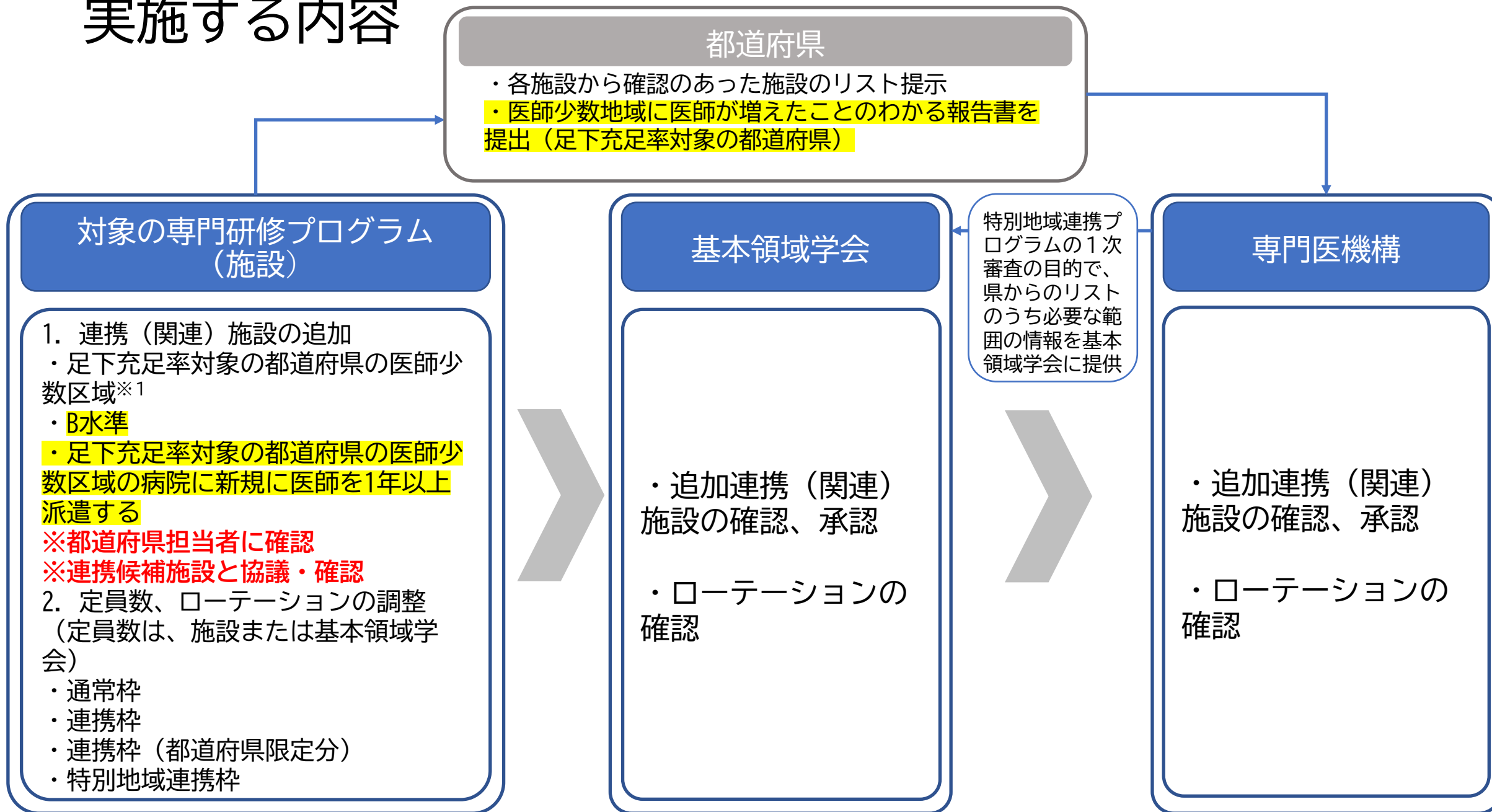


2025年度特別地域連携枠（案） について

日本専門医機構

特別地域連携枠 新要件 参考資料

実施する内容



※1 なお、小児科は小児科医師偏在指標に基づく相対的医師少数区域

特別地域連携枠について

基幹病院の対象施設はシーリングの設定において「特別地域連携枠」に1以上の数字が設定されている都道府県別診療科の施設（専門研修プログラム）

連携対象施設は、以下の①または②または③に該当する施設

足下充足率が原則0.7以下（小児科については0.8以下）の都道府県において、

①医師少数区域※にある施設であること。（※なお、小児科については小児科医師偏在指標に基づく相対的医師少数区域） 前年度と同じ

②令和5・6年度開始プログラムの専攻医募集時に、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超えるもしくは超えるおそれがある医師が所属する施設として、特別地域連携プログラムの連携先となった施設であって、引き続き、連携が必要となる、B水準の特定労務管理対象機関であること。 前年度から文言の整理

③医師少数区域の研修施設に新規に医師を1年以上派遣する研修施設であること（前年度に派遣実績がある場合は、それに加えて新たに派遣する）。なお、特別連携枠プログラムにおいて、特別連携枠専攻医登録数と新規に派遣する医師少数区域の研修施設と前年度と当該年度の派遣数を明記し、翌年派遣の実績報告書を提出することとする。この場合、具体的な派遣は、県の地域医療対策協議会が確認する。なお、新たな派遣が確認できない場合は、翌年度の「特別地域連携枠」を該当分減ずる。 新要件